

枚方市NPO活動応援基金

補助事業報告レポート



皆様に感謝を込めて、ご支援いただいた5法人の取り組みをご紹介します！

枚方市 市民活動課

〒573-8666 大阪府枚方市大垣内町2丁目1番20号
電話：072-841-1273（直通） FAX：072-841-5133
電子メール：skatudo@city.hirakata.osaka.jp



枚方市NPO活動応援基金補助事業一覧

	事業名及び法人名	補助金交付額
①	放課後の子どもの居場所「放課後クラブあおむし」づくり事業 【特定非営利活動法人えほんのお部屋ひまわり畑】	350,000円
②	ろう手話講師育成事業 【特定非営利活動法人枚方市手話通訳協会】	130,000円
③	要介護高齢者の余暇活動のための外出ニーズに応える事業 【特定非営利活動法人関西生活文化研究会おでかけ】	104,000円
④	自由な外出が困難な人の目的地付添を含む外出支援事業 【特定非営利活動法人エンパワセツルメント】	292,000円
⑤	えほんライブを中心とした体験型の自己肯定感育成事業 【特定非営利活動法人ハーモニークラブ】	80,000円

補助総額：956,000円



① 「放課後の子どもの居場所 『放課後クラブあおむし』 づくり事業」

～子どもも大人も“ほっ”とできる放課後の居場所づくり～

【特定非営利活動法人えほんのお部屋ひまわり畑】



活動紹介

平成18（2006）年に任意団体として活動を開始。
平成30（2018）年に法人格を取得。

主な活動場所は、枚方市香里ヶ丘にある法人施設
など。

子どもと保護者に寄り添い、子育て中にほっとできる
場所を提供することを目的に、さまざまな活動を実施。

- 1 親子が集う広場事業
- 2 小学生の居場所づくり事業
- 3 一時預かり保育事業 など



法人へのお問合せ先

所在地 〒573-0084
枚方市香里ヶ丘12丁目6-28

代表者 中谷 章代

電話番号 090-6739-7064

FAX番号 072-395-3081

電子メール heartnetkids@yahoo.co.jp

ホームページ

<https://www.himawaribatake0303.com>



～枚方市NPO活動応援基金を活用して実施した事業の紹介～

事業内容

放課後の安心安全な居場所として放課後クラブを開室しました。
年間235日開室し、延べ人数459人の小学生が利用しました。
利用する児童は、宿題やアナログゲーム、友達と遊ぶなど様々な過ごし方ができました。
定例で開催している講師を招いてのウクレレ教室やアナログゲーム会は、スタッフも参加し子どもたちとともに楽しみました。また、夏休みにはスライム、冬休みには凧やクリスマス用のガーランドを作成するなど、創造性や自主性を養う行事を開催しました。

対象者

市内の小学1年生から6年生までの児童
(校区外の児童も利用可能)

実施日時・場所

毎週月～金曜日の15時から17時30分まで。
※長期休暇期間中は10時半から17時半まで。
活動拠点は、香陽小学校区にある法人の所有施設

団体登録のきっかけ

所有施設を活用した放課後の子どもの居場所づくりを推進していくための法人の活動資金として、団体登録しました。



新型コロナの影響

新型コロナの影響により、利用者が減少しました。利用については予約制を取り入れるなどの工夫をする一方、食事の黙食など子どもたちへの制約も多くなりました。

事業の成果

従事するボランティアへの謝金や工作などに使用する消耗品へ補助金を活用しました。

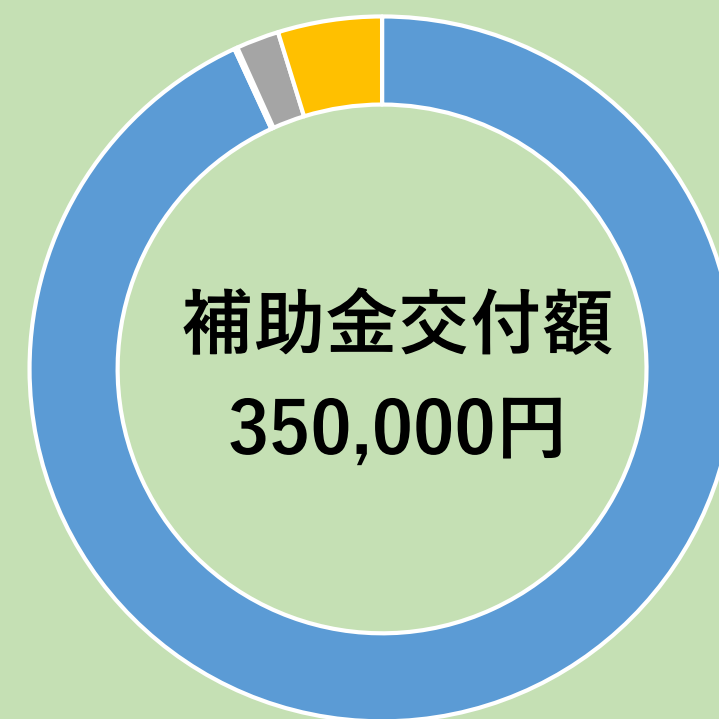
同年代の子ども同士で宿題を教えあったり、ウクレレ教室では上達した子が先生と一緒に年下の子を教える等、学年や学校の異なる子とのつながり生まれ、子どもたちが自由に安心して過ごせる居場所づくりが達成できました。

また、基金への団体登録により、地域の方への広報がしやすくなり、団体を指定した寄附もあり、改めて活動意義を感じるとともに、スタッフの意識向上にもつながりました。

今後の取り組み

引き続き17時半までの開室を続けていきます。令和5年度より、小学校の放課後オープンスクエアが開始され、利用者が減少することも考えられますが、オープンスクエアを利用しない児童の地域の放課後の居場所としての活用内容を探っていきます。

補助金の使い道



- ボランティア謝金
- 印刷製本費
- 消耗品費
- 講師代

② 「ろう手話講師育成事業」

～手話指導講座を通じてろう者の活躍できる場を～

【特定非営利活動法人枚方市手話通訳協会】



活動紹介

昭和55（1980）年に任意団体として活動を開始。
平成15（2003）年に法人格を取得。

主な活動場所は、枚方市立サプリ村野NPOセンター、法人事務所など。

手話通訳派遣等の事業を通して、聴覚障害者の自立や社会参画を進めることを目的に、さまざまな活動を実施。

- 1 手話通訳者派遣事業
- 2 手話通訳者養成事業
- 3 手話普及事業 など



法人へのお問合せ先

所在地 〒573-0022
枚方市宮之阪3丁目1-30

代表者 山田 智子

電話番号 072-807-4928

FAX番号 072-807-4928

電子メール hstk@royal.ocn.ne.jp

ブログ

<http://hiratuukyou.blog137.fc2.com/>



～枚方市NPO活動応援基金を活用して実施した事業の紹介～

事業内容

外部から専門性の高い講師を招き、手話講習会や手話教室のろう者講師や将来講師を目指すろう者へ向けた、ろう講師育成講座を実施し、受講者の手話言語知識スキルアップを図りました。

講座では、全10回の講座の内、8回以上受講した受講生に修了証を授与しました。

また、ろう者の意見を取り入れた、耳の聞こえない講師にも利用しやすい手話指導テキストを新たに作成しました。

対象者

市内及び近隣市在住のろう者
府内在住のろう講師

実施日時・場所

ろう講師育成講座：年間10回（毎月第2日曜日）
手話指導テキスト作成、修了証作成：7日間
活動拠点は、枚方市立サプリ村野NPOセンター及び
法人事務所



団体登録のきっかけ

ろう者向けの市民参加型の講座開講にあたり、法人の活動資金不足や受講者の費用負担が課題であり、また手話通訳の必要性等を周知する機会にしたいと考え、登録しました。

新型コロナの影響

手話は見る言葉であるため、マスクをつけた状態では口形が確認できない、集会が制限される等、手話の特性から様々な制約がありました。また、各種イベントが中止になった影響により、手話通訳派遣も減少しました。

事業の成果

講座の会場費や講師への謝礼金などへ補助金を活用することで、著名な手話指導者を講師に招くことができ、受講者が専門的な技術を学ぶ場を提供することができました。

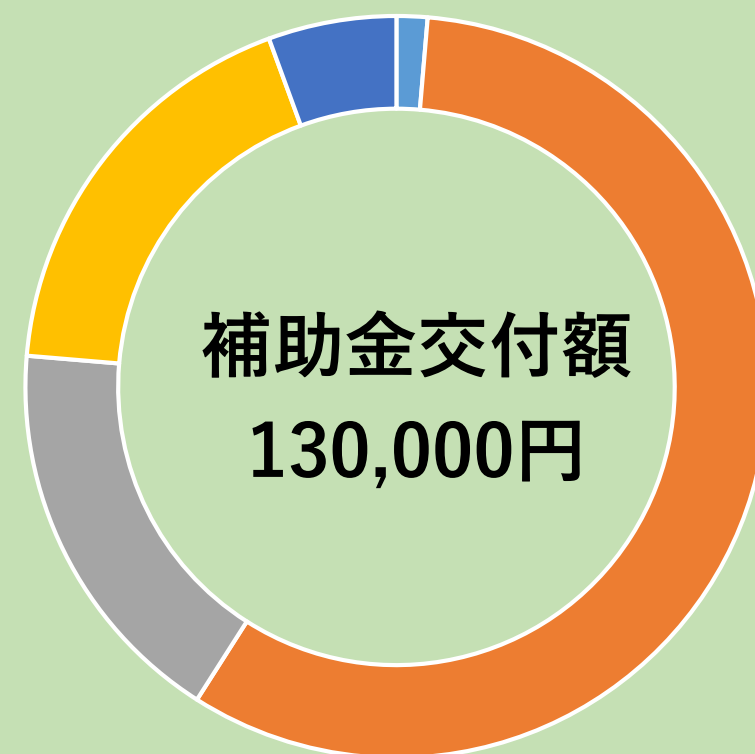
また、ろう講師の指導力の向上のため、ろう者の意見を取り入れた、手話指導テキストを作成することができました。

事業の実施にあたり、基金ののぼりやシンボルマークを活用したことで、講師や受講生の意欲の向上につながりました。

今後の取り組み

より良い福祉のまちづくりの発展に寄与するため、ろう者が主体的に手話教室等で聞こえる市民に対して手話を広められるよう、引き続きろう講師の育成事業等に取り組み、ろう者の手話指導力の向上に努めていきます。

補助金の使い道



- 会場費
- 講師謝金
- 交通費
- 人件費
- 消耗品費

③ 「要介護高齢者の余暇活動 のための外出ニーズに応える事業」

～要介護高齢者のなじみの場所への外出を支援～

【特定非営利活動法人関西生活文化研究会おでかけ】



活動紹介

平成17（2005）年に法人格を取得。

主な活動場所は、市内北部およびその周辺地域。

介護事業所等と協力し、高齢者や障害者の外出及び社会参加の促進による快適な日常生活の実現を目的にさまざまな活動を実施。

- 1 福祉有償運送事業
- 2 訪問介護事業



法人へのお問合せ先

所在地 〒573-1111

枚方市楠葉朝日1丁目21番8-202号

代表者 大津 周子

電話番号 072-809-4416

FAX番号 072-809-2204

電子メール odekake@camel.plala.or.jp

ホームページ

<https://sites.google.com/view/npoodekake/>

～枚方市NPO活動応援基金を活用して実施した事業の紹介～

事業内容

介護が必要な方に対して、公的福祉サービスの対象とならない“余暇活動”の外出を支援する事業です。事前に訪問先などの調査を行ったうえで、福祉有償運送と介護職員初任者研修等の有資格者が車両を用いて外出支援を行いました。

利用者の募集は、病院や福祉施設、ケアマネージャーに当事業のパンフレットを送付し周知しました。

対象者

市内在住の外出に介護が必要な方
(要介護認定にかかわらず介助が必要な人)

実施日時・場所

毎週木曜日の13時30分から17時30分まで。
活動拠点は、市内北部およびその周辺地域

団体登録のきっかけ

福祉移送サービスに必要な活動資金が不足しており、寄附を募ってはいるものの集まらない状況が続いていました。

ふるさと寄附金を活用した補助金があることを知り、寄附者をより募りやすいと考えて、申請を行いました。



新型コロナの影響

感染対策をしつつ活動を続けていましたが、外出の目的となっていた店舗やイベント会場の都合により、利用を控える利用者もいました。

事業の成果

基金登録法人であることで、公益的な活動を実施していることを多くの方に周知することができ、福祉関係者や寄附を検討している方から社会的な信頼を得ることができました。

従事者の人件費に補助金を充てて実施することができたため、利用者が諦めていた「なじみの場所」へ再び通ってもらうことが可能となりました。また、事業を実施していく中で、活動が周知されていき、利用希望も増加していきました。

今後の取り組み

令和5年度は本補助金の交付は受けていませんが、これまでの利用者が「なじみの場所」へ通っていただけよう、今後も法人の独自事業として本事業を継続していきます。



④ 「自由な外出が困難な人の 目的地付添を含む外出支援事業」

～外出困難者の社会参画の支援のために～

【特定非営利活動法人エンパワセツルメント】



活動紹介

平成22（2010）年に任意団体として活動を開始。
平成26（2014）年に法人格を取得。

主な活動場所は、枚方市及び近隣市。

ひとり暮らしの高齢者等の孤立を防ぎ、社会活動の幅を広げるための相談や支援、人権擁護活動等さまざまな活動を実施。

- 1 日常生活における制度内外すべての支援諸作業事業
- 2 人権擁護における全ての諸作業事業
- 3 年末年始ホームレス支援 など



法人へのお問合せ先

所在地 〒573-0022
枚方市宮之阪1丁目16-14

代表者 竹谷 良二

電話番号 072-807-5199

電話番号 070-5653-6124

電子メール info@jp-hitori.net

ホームページ <https://jp-hitori.net/>



～枚方市NPO活動応援基金を活用して実施した事業の紹介～

事業内容

一人での外出が困難な方に対して、介護保険制度等の公的福祉サービスの対象とならないような、通院先等でのお手伝いや付添を含めた移動支援をする事業です。

利用者の募集は、市役所の介護担当部署や地域包括支援センター、市内飲食店等にチラシを配架するとともに、地域の情報誌へ事業内容を掲載し周知しました。

対象者

市内在住のひとり暮らし高齢者等の外出困難者

実施日時・場所

通年実施

活動拠点は、枚方市内及び近隣市

団体登録のきっかけ

法人の自立した運営を目指すために必要な初期資金を得るため、本基金を申請しました。



新型コロナの影響

コロナによる感染防止の観点から、個人での利用が可能な本事業のようなサービスのニーズは増加しているよう感じました。

事業の成果

移動支援に利用する自動車リース代や、支援従事者の人件費に補助金を充てることで、安定したサービス提供の一助となりました。

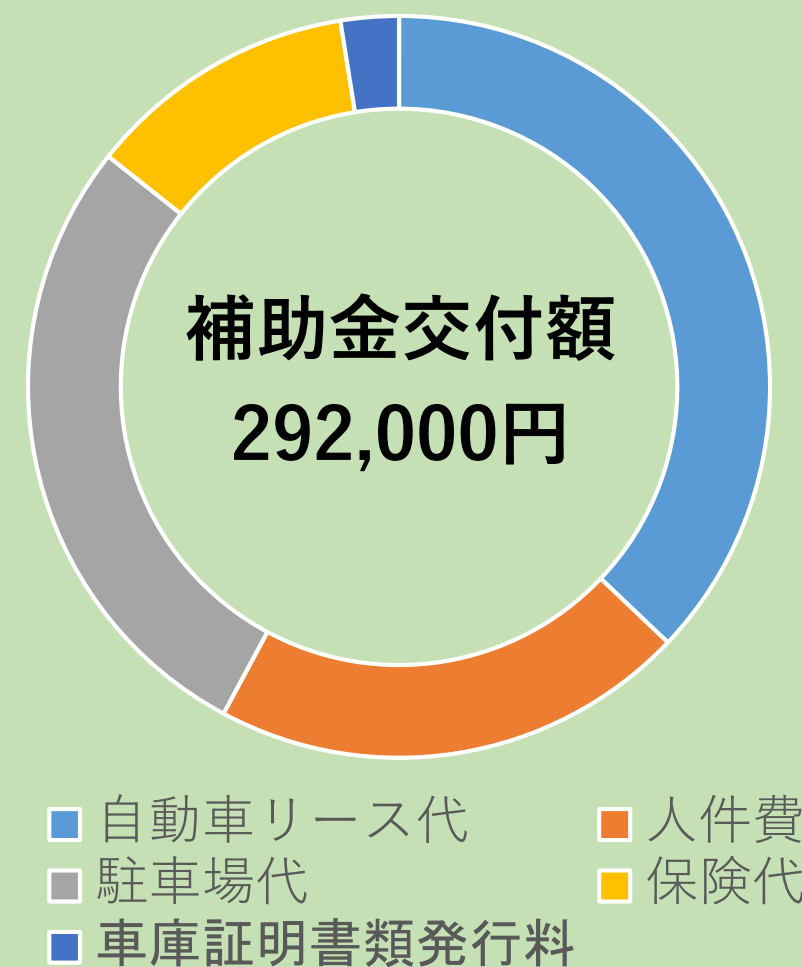
単なる移動手段に限定せず、外出先で利用者のお手伝いをあわせて行うことで、利用者の社会参画を支援することができました。

利用者からは、「買い物や通院などの外出先での用事も手伝ってもらえるので助かった」という声も聞かれました。

今後の取り組み

市民のみなさまへ移動難民の存在を広く周知し、経済状況に応じて費用負担を考慮する助け合いのシステムを構築できるよう、模索していきます。

補助金の使い道



⑤ 「えほんライブを中心とした 体験型の自己肯定感育成事業」

～ありのままでききられるための親子の場づくり～

【特定非営利活動法人ハーモニークラブ】



活動紹介

平成31（2019）年に法人格を取得し活動を開始。

主な活動場所は、市内の保育・教育施設や地域の子どもイベント等での出張公演。

法人オリジナルの作品であるえほんライブや保育サロンを通して、ありのままに生きられるための場づくりを展開し、新たな保育の担い手の応援や保育に役立つオリジナル作品の開発などの活動を行っている。

- 1 えほんライブの上演・パフォーマー養成活動
- 2 親子の場づくり活動
- 3 保育に役立つオリジナル作品の開発活動 など



法人へのお問合せ先

所在地 〒573-1126
枚方市上島東町14-1
ルファルひらかた社協5階

代表者 井上 千晴

電話番号 080-4393-8255

電子メール info@harmony-club.jp

ホームページ <https://harmony-club.jp>



～枚方市NPO活動応援基金を活用して実施した事業の紹介～

事業内容

えほんライブ（絵本と音楽が一体となった作品で、朗読と歌や音楽、映像などを用いた体験型ライブ）や、体験型活動（音楽活動や工作、体を使った簡単な遊び等）を実施して、自己肯定感を育む取り組みを実施しました。えほんライブや体験型活動は親子広場や野外イベントで上演し、地域の親子や保育士等、約140人が参加しました。

保育サロンでは、保育に携わる人や地域の多種多様な人たちと交流し、自己肯定感を育む保育や、保育にかかわる情報・意見交換など、多面的に保育について語る場を設定しました。

対象者

市内の子育て世帯や保育士などの教育関係者、高齢者等

実施日時・場所

えほんライブ：【親子広場】年間5回

【野外イベント】：令和4年4月2日(土)

保育サロン：年間13回

活動拠点は、枚方市岡本町周辺



団体登録のきっかけ

活動資金が不足しており、寄附を募っても集まらない状況が続いていた中で、より多くの寄附者を募ることを目的として団体登録を行いました。

新型コロナの影響

感染防止対策として、親子広場や野外イベントではパフォーマーやスタッフもマスクを着用して取り組みを行いました。

事業の成果

親子広場・野外イベントの運営スタッフ、保育サロンの人件費等に補助金を活用しました。

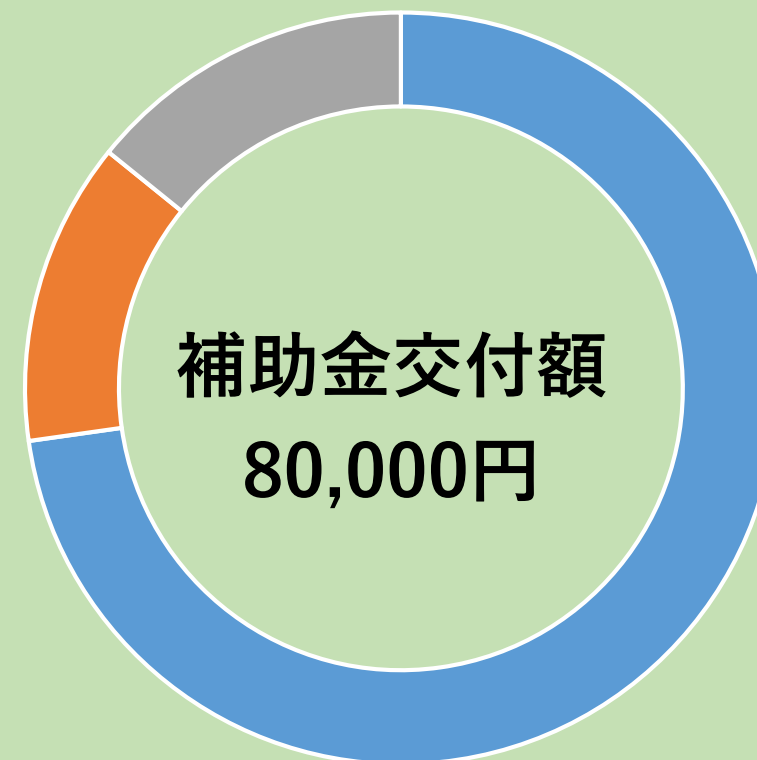
基金を活用して親子広場や野外イベントを開催したことで、地域の子どもから高齢者まで幅広くえほんライブや体験型活動等に参加していただき、自己肯定感を育む活動ができました。

また、保育オンラインサロンでは、保育士からの要望により「水遊びの歌」楽曲制作や、えほんライブの挿入歌の手話制作に取り組むとともに、保育園児のえほんライブ上演にあたり、保育士の園児指導に関する支援を実施しました。

今後の取り組み

令和5年度も本補助金を申請しています。えほんライブや体験型活動の無料実施と保育サロンの開催を引き続き実施するほか、枚方市ボランティアセンターとの共催により、「ボランティア体験講座」の開催を予定しています。

補助金の使い道



■ 人件費 ■ 交通費 ■ 講師謝礼

皆さまのご寄付により、 令和4年度の活動が実施できました

引き続き法人へのご支援やご協力を よろしくお願いいたします

よろしく
お願いいたします。



枚方市キャラクター
ひこぼしくん

令和4（2022）年度
枚方市NPO活動応援基金補助金 交付団体

- 1 えほんのお部屋ひまわり畑
- 2 枚方市手話通訳協会
- 3 関西生活文化研究会おでかけ
- 4 エンパワセツルメント
- 5 ハーモニークラブ

以上 5団体
補助総額：956,000円

枚方市NPO活動応援基金は、引き続き寄附を募集しています！

枚方市NPO活動応援基金



本基金の詳細は
こちら



ふるさと納税の詳細は
こちら

